

# 私たちのくらしと水



水が支える人のくらし



## Q

みやぞめ  
宮染の工程「水洗い」が  
行われていた川の名前は？

川

※□の中に入る  
文字を答えてね！



水道ぼうや手ぬぐい  
50名様にプレゼント!

特集「みや」を支える水の力④

受け継がれる「宮染」

受け継がれる

みやぞめ

# 宮染

ほくの  
手ぬぐいを  
作るよ!



風合いによって、宇都宮の人々の暮らしに彩りを添えてきました。

今回は、水道ぼうやと一緒に、現代にも受け継がれる「宮染」とその製作工程の体験を通して、私たちと水との関わりについて考えてみましょう!

水は、私たちの生命に欠かせないだけでなく、生活に役立つ日用品を作るうえでも、昔から重要な役割を担っています。

宇都宮の伝統工芸「宮染(みやぞめ)」もその一つで、注染(ちゅうせん)という昔ながらの技法で染められた浴衣や手ぬぐいは、吸水性や風通しに優れており、にじみやゆらぎなど独特の



## 1 生地きしの準備

白い生地はそのままでは染められないから、染料がよくしみ込むように、一度浸透剤につけておくんだ。

その後、生地についている余分なりのりや汚れを洗い落とし、大きなやぐらに干して乾燥させるよ。



## 2 型紙かたがみの準備

宮染で使う型紙は、丈夫な和紙を数枚重ねて、柿渋(未熟な渋柿の絞り汁から作る液体)で貼り合わせ、模様を透かし彫りしたもの。(現在ではビニール系の合成紙を使うこともあるよ。)専門の職人が手彫りでおこしているんだって!



難しい…。

## 3 型置きかたがみ(のり付け)

生地を専用の台の上に置き、その上に型紙を乗せ、上からへらでのりを付けていくよ。

1回ごとに生地を折りたたみ、同じようにのりを付けていくんだ。一反につき10~12回くらい折り返すよ。



のりを付けただけなら、おがくずをかけて保護しておくよ。

型紙は水につけて  
やわらかくして  
おくんだ。

準備だけでも  
とて手間が  
かかるんだね!



## 私たちの暮らしと下水道 下水道の役割



宮染の水洗いで使った水を水再生センターに運ぶ下水道。普段、下水道を目にすることはありませんが、私たちが日常生活で使った水も、下水道を通して水再生センターに運ばれ、微生物などを使ってきれいにしてから川や海に帰すことにより、快適な暮らしや身近な環境を守っています。

また、台風や大雨のときに、浸水からまちを守る役割もある重要な施設です。

下水道は、毎日たくさんの働きをして、私たちの暮らしを支えています。

下水道への  
接続に  
ついては…

